

平成20年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 今 川 雄 策

市 民 ク ラ ブ 菅 原 弘 夫

フ ォ ー ラ ム 2 1 人 見 高 司

公 明 党 石 塚 秀 博

秋 水 会 熊 谷 重 隆

フ ォ ー ラ ム 2 1 小 林 一 夫

秋 水 会 赤 坂 光 一

1 市長の政治姿勢について

- (1) 地方分権改革推進委員会の第1次勧告に対する認識及び今後示される第2次勧告への期待と決意について
- (2) 本市のふるさと納税制度への対応について

2 長寿医療制度について

- (1) 本市において保険料がふえた世帯数の各所得層ごとの割合はどうか、また、その割合を本市としてどう理解しているのか
- (2) 保険料がふえた世帯からの苦情、問い合わせには、どのような対応をするのか

3 学校施設の耐震化について

- (1) 本市の現段階での耐震化の取り組み状況について
- (2) 補助率引き上げの対象となる施設は、本市にどのくらいあるのか
- (3) 補助率引き上げのほかに、耐震化を加速させる支援策はあるのか
- (4) 本市としても耐震化を加速すべきと考えるが、どのように進めていく方針なのか

4 公立保育所の民間移行について

- (1) 現在の公立保育所の民間移行の進捗状況はどうなっているのか
- (2) 今後着々と市内の公立保育所を民間に移行すべきと考えるが、それに向けた現状の課題は何か
- (3) 保育所と地域福祉のかかわりをどうとらえているのか

5 子育て支援策について

- (1) 在宅子育てサポート事業のアンケート結果はどうであったのか
- (2) 在宅子育てサポート事業の対象を子供が幼稚園や保育所に就園、入

所している世帯にも広げることにはできないのか

(3) 在宅子育てサポート事業のプランの一部見直しは、考えているのか

6 公園遊具の安全対策について

(1) これまでの本市の安全確認状況と今後の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」の改定に伴う対応について

7 絆の再生に向けた本市のかかわりについて

(1) 「あきた家族ふれあいサンサンデー秋田市学校開放事業」の概要と利用状況について

(2) 小中学校における「絆づくり教育プラン」の取り組みについて

1 第二期地方分権改革の動向について

- (1) 市長は第1次勧告の内容を評価しているとのことであるが、具体的にどのような点を評価しているのか
- (2) 第1次勧告の第2章、第3章で具体的な権限移譲の事例が示されているが、勧告がそのまま実現するとすれば、本市の業務にどのような変化があると考えているのか
- (3) 第二期分権改革の実現に向けて、各省庁とのせめぎ合いなど苦難が予想されるが、全国市長会会長として見通しをどのようにとらえているのか、また、改革に対する意気込みはどうか

2 第11次秋田市総合計画について

- (1) 本総合計画を着実に推進するため3年間の期間計画が策定されているが、1年経過し、変更を検討しなければならない目標値はあるのか、また、その要因は何か
- (2) 20年度中に22-24期計画の策定に向けて市民意識調査を実施することであるが、どのような内容になるのか、また、その結果をどのように計画に反映していくのか

3 人事について

- (1) 人事異動を実施するに当たり、どのような基準に基づいて異動を発令しているのか、また、職員の意欲喚起にどう結びつけているのか

4 個人情報保護について

- (1) 個人情報保護について、職員の意識啓発をどのように図っているのか
- (2) 委託業者等、職員以外からの漏えい防止のため、どのような対策を講じているのか

5 農業について

- (1) 本市農業の将来展望についてどのように考えているのか
- (2) 秋田市米政策推進協議会における取り組みと今後の課題について
- (3) 農林産物直売施設整備に向けた取り組みについて
- (4) J A 新あきたが策定した農業振興計画の各基本方針の実践について、本市としてどのように評価し、今後の課題をどのように認識しているのか
- (5) 米の消費拡大を図るため、米や米粉を原料とした加工食品の開発及びブランド化について、どのように考えているのか
- (6) 大区画圃場整備のメリット、デメリット及び国からの支援はどのようなものか、また、今後の整備計画の見通しはどうか
- (7) 認定農業者及び担い手農業者の育成・確保を図るため、農家にどのような説明をし、理解を得ているのか

6 環境行政について

- (1) ごみの減量等について
 - ア ごみ減量・分別井戸端会議について、昨年度の実施状況と成果及び今年度の具体的な計画はどうか
 - イ 食用油の廃油について、資源化を検討する考えはないか
 - ウ 食用油の廃油を利用した燃料を公用車に使用する考えはないか
 - エ ごみ集積所の設置場所については、町内会に任されている実情であるが、まちの美化及び交通安全の観点から、本市が強力に指導すべきと思うがどうか
- (2) 二酸化炭素排出量の削減について
 - ア 工場、一般事業所、家庭、農家等への啓発に加え、協力を求めながら排出量の削減に努めるべきではないか
 - イ 原油価格の高騰により、まきストーブの使用や炭焼きの増加が推測されるが、これに伴う二酸化炭素排出量の増加及び市としての指

導について、どのように考えているのか

ウ 本市の二酸化炭素の総排出量及びそれに対する森林や植物の吸収率は幾らか、また、森林吸収率を高めるための施策を検討する考えはないのか

エ 秋田市環境基本計画では、公用車の低公害車への代替を推進することとしているが、年次計画はどのようになっているのか

(3) 不法投棄に対する罰則、取り締まり等の所轄及び事例について

(4) ごみ収集業務は、22年度には全面民間委託となるが、どの程度の経費の節減効果が見込まれるのか

7 防災対策について

(1) 現行の耐震基準と昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築物の耐震強度にどのくらい違いがあるのか

(2) 旧耐震基準で建築された本市所有の多数の市民が利用する建築物のうち、小中学校以外のものはどれくらいあるのか、また、秋田市耐震改修促進計画における目標の達成見通しはどうか

(3) 公立小中学校などに対する国の補助率が引き上げられたが、耐震補強の計画を変更し、早期実現を図るべきと考えるがどうか

(4) 一定以上の危険物を貯蔵している建築物で、旧耐震基準で建築されたものは把握しているのか、また、耐震改修を促進するため、今後どのような指導をしていくのか

(5) 地震等に伴う危険物災害を防ぐため、危険物施設についてどのような指導をしているのか

(6) 指定管理者制度を導入している本市所有の集客施設において、災害時の対応は万全なのか、また、避難訓練は実施されているのか

(7) 指定管理者制度を導入している公の施設において、地震等大規模災害発生時の施設利用者に対する責任の所在は協定書などで明確にされているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 佐竹市政のこれまでの成果、反省点をどのように認識しているのか、また、今後の市政運営にどのように反映していくのか

2 到来する本格的な地方分権時代の中で、本市行政が地域経営に果たす役割と責任について

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 事業計画段階での事業適否をどのように検証するのか

4 誠実で公正な行政運営について

- (1) 市民及び議会に対して積極的に情報を開示すべきではないか

5 組織風土の改変について

- (1) 職員の意識改革について
- (2) 民間との人事交流の促進及び職務経験者の積極的な採用について
- (3) 事業仕分けの活用について

6 地域通貨について

- (1) より実効性のある市民協働を進めるために、地域通貨を導入する考えはないか

1 クールアース・デーについて

- (1) 首相がクールアース・デーと宣言した七夕の日を、みんなで地球温暖化防止を考え行動する日として、公共施設だけではなく民間施設や各家庭でもライトダウンを行うよう、積極的に一般家庭、民間企業及び商店会へ呼びかけてはどうか

2 防災対策について

- (1) 市立小中学校の耐震化について

ア 現時点における未整備施設数及び耐震化計画に対する進捗状況について

イ 今後、耐震補強事業が完了するまでに要する事業費について

ウ 「全学校施設の早期耐震化」に対する見解について

- (2) 平成17年2月の代表質問において、さらなる防災協定締結の必要性について質問しているが、その後における防災対策の拡充に向けた具体的な協定内容と締結までの過程はどうか、また、被災者救援対策のための体制づくりの現状及び今後の課題はどうか

3 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ対策について

- (1) 鳥インフルエンザ対策について

ア 防疫体制の充実・強化を図るための今後の具体的な感染防止対策と協力体制及び県との連携について

イ 本市における養鶏農家に対する防疫措置の指導内容及び今後の支援策を含む相談体制について

ウ 鳥インフルエンザに関する知識の普及を図るための市民への啓発活動について

- (2) 新型インフルエンザ対策について

ア 新型インフルエンザが蔓延した場合、県の危機管理対策本部と連

携を図り、本市における対策を実行する実質的な司令塔の役割を果たす部署はどこか、また、部局横断的な連携をスムーズに行うための行動計画の作成などの備えはできているのか

イ 新型インフルエンザが蔓延した場合の周辺自治体との広域的な連携について

4 長寿医療制度について

(1) 新たな制度について説明不足を招いた原因を市としてどのように考えているのか、また、市民の不安の声や苦情をどのようにとらえているのか

(2) 国において、本制度の運用改善の動きがあるが、本市として、今後、具体的にどのように市民に対して説明責任を果たしていくのか

5 新庁舎建設について

(1) 現庁舎の耐震性について

(2) 新庁舎建設の基本構想の策定及び計画から建設までのスケジュールについて

(3) 建設費用と資金調達方法及び新庁舎建設が本市財政に与える影響について

(4) 本市の財政面や立地条件等を考慮すれば、現庁舎敷地と隣接する旧NHK秋田放送会館用地を最大限活用し、東側から順次建設していく手法が最も合理的で実現性があり、経費と時間を削減できると考えるがどうか

(5) 第11次秋田市総合計画の期間計画の中で、「秋田市庁舎の新築にあわせ、中央地域における（仮称）市民サービスセンターの整備の検討を進める」とあるが、市民サービスセンターを同一敷地あるいは建物内に整備する考えはあるのか

(6) 中央公民館は、（仮称）中央地域市民サービスセンターの機能の一つとして、新庁舎建設とあわせて整備すべきと思うが、今後の中央公

民館の取り扱いについてどのように考えているのか

- (7) 財政面、防災面及び（仮称）市民サービスセンターとの役割分担を考慮した効率的な行政経営などさまざまな課題を認識した上で、どのような機能を備えた庁舎建設を考えているのか

1 市長の行政運営について

- (1) 河辺・雄和両地域における都市内地域分権の推進について
- (2) 限界集落問題に対する取り組みについて

2 行政改革の推進について

- (1) 包括外部監査において、公社と第三セクターのあり方について、大幅な見直しが指摘されているが、市としてどのように方向づけていくのか
- (2) 包括外部監査において、秋田市土地開発公社に対し、解散を含めた事業の休廃止への取り組みについて意見が出されているが、どのように考えているのか
- (3) 事業評価会における評価結果をどのように各事業に反映させたのか、また、その後の状況を評価者に報告するなどの取り組みも必要ではないか

3 入札制度について

- (1) 最低制限価格制度の見直しについて
- (2) 総合評価方式の導入について

4 教育振興について

(1) 秋田市教育ビジョンについて

ア 統廃合の検討を要する小中学校について

イ 学校の統廃合は、地域の衰退につながると考えるが、統廃合を含め小中学校配置の適正化についてどのように検討しているのか

ウ 学校給食の現状、民間委託の取り組み及び今後の共同調理場の整備計画について

(2) 御所野学院について

ア 高校進学時に約4割の生徒が他校に進学している現状をどのようにとらえているのか

イ 中高一貫教育のあり方を教育委員会としてどのように認識しているのか

(3) 指定文化財の防火対策について

ア 防火設備の整備などの防火対策にどのように取り組んでいるのか

(4) 財団法人秋田市学校給食会の運営について

ア 人件費を含めた運営経費を市が負担すべきではないか

イ 学校給食の民間委託が進んだ場合、秋田市学校給食会はどのように認識しているのか

5 認可保育所への看護師の配置について

(1) 認可保育所における看護師の配置状況はどうか、また、今後の配置計画はどうなっているのか

6 生活排水設備の整備に対する融資及び助成金制度について

(1) 農業集落排水事業における排水設備の整備に対する融資については、公共下水道事業及び個別排水事業と同様、個々に対する融資とし、統一した取り扱いをすべきではないか

(2) 農業集落排水事業及び個別排水事業においても水洗便所改造資金助成金制度を設けるべきではないか

7 河辺堆肥センターについて

(1) 河辺堆肥センター施設整備事業の今後の見通しについて

8 道路整備について

(1) 国道13号河辺拡幅事業の進捗状況及び今後の見通しについて

(2) 県道河辺阿仁線の早期整備の促進について

(3) 本田橋の調査結果と今後の整備計画について

1 市長の政治姿勢について

(1) 本市が地方政府として十分に機能する礎を築くための取り組みについて

ア 効率的な行政経営について

イ 市民密着型の行政サービスの推進について

ウ 職員の意識改革と資質の向上について

(2) 産業経済の振興について

ア 資源リサイクル関連事業の活性化策について

イ 環日本海シーアンドレール構想の実現に向け、本市が果たすべき役割は何か

ウ 極東ロシアとの航路誘致活動の今後の見通しについて

(3) 後期高齢者医療制度について

ア 国の制度見直しの動きに対して、現場の実情をどのような認識で全国市長会会長として国に要望したのか

2 公共施設の使用料設定における基本方針等について

(1) 管理運営に要する人件費の節減について

(2) 指定管理者制度を導入している施設に係る指定管理料の適正化について

(3) 地域センターの事務量に対する適正な人員配置について

(4) 地域センターのコミュニティセンター化の推進について

(5) 市民理解を得られる使用料の設定について

3 教育行政について

(1) 学習指導要領の改訂について

ア 小学校外国語活動の実施について

(ア) ねらいと内容について

(イ) 教育課程上の位置づけについて

(ウ) 指導者の確保について

(2) 秋田ソウル便を利用した中学生の韓国への修学旅行について

ア 積極的な推進について

イ 財政的支援について

4 中高一貫校御所野学院について

(1) 基本理念実現のため目指した5つの学校像に向けた教育活動の成果と今後の課題について

(2) 中学校入学時点において、御所野学院中学校までと御所野学院高等学校までに選抜する意図について

(3) 御所野学院中学校から御所野学院高等学校へ進学しない生徒について

ア 生徒の高校受験指導について

イ 6年間を見通した教育課程が3年間で終わるデメリットについて

(4) 創立10周年を大きな区切りとして、選抜方法、形態及び規模などの見直しが必要ではないか

5 市の出資団体に対する包括外部監査の指摘事項等について

(1) 不適切な随意契約について

ア 財団法人秋田市総合振興公社の状況について

イ 財団法人雄和环境保全公社の状況について

(2) 指定管理者制度適用範囲の適否を定めた指針の策定について

(3) 合理性を欠く処分収入の受託者帰属について

ア 財団法人秋田市総合振興公社に委託している、空き瓶、空き缶、ペットボトル及び使用済乾電池処理業務の委託料について

(4) 普通財産の使用実態と整合しない委託契約について

ア 財団法人秋田市総合振興公社に委託している、秋田市勤労者総合福祉センターリフレッシュガーデン管理運営業務の委託契約について

て

(5) 不適切な非公募の理由について

ア 太平山観光開発株式会社の状況について

イ 株式会社雄和振興公社の状況について

(6) 指定管理者との協定の不備について

ア 太平山観光開発株式会社の状況について

イ 河辺地域振興株式会社の状況について

ウ 株式会社雄和振興公社の状況について

(7) 秋田市雄和里の家、秋田市雄和観光交流館及び秋田市雄和観光農産物加工所の施設の有効利用について

ア 施設の廃止を含めた事業の見直しについて

(8) 財団法人秋田観光コンベンション協会への補助金等について

ア 補助対象事業の有効性の評価について

(9) 不適切な行政財産使用料の減免について

1 人口減少時代の経済施策について

- (1) 本市の企業における、県外・国外を視野に入れた具体的な企業の動きはどうか、また、市として、このことに対する支援・誘導の方向性はどうか
- (2) 起業家マインドの醸成に向けたビジネス教育の充実と、成長企業の域内とめ置きのための環境整備に向けた、基本的な考え方について
- (3) 中心市街地出店促進事業について
 - ア 中心市街地の空き店舗への出店に対し、他の地区よりも優遇した制度としているのはなぜか
 - イ 中心市街地の空き店舗の流動化を促進するため、空き店舗所有者の固定資産税相当額を補助対象に加えることができないか
- (4) 商店街組織への加入と応分の負担を事業者の責務として規定する条例を設定すべきと思うがどうか
- (5) 地域団体商標制度を市内産業界に普及させるための取り組みの現状と考え方について

2 都市内地域分権について

- (1) 都市内地域分権の推進に当たり、市民協働の理念を踏まえ、市民が分権の具体的なイメージを十分に理解し、積極的に参画していくための環境づくりをどのように進めていくのか
- (2) (仮称)西部地域市民サービスセンターに森川翁ゆかりの資料を展示する考えはないか

3 新庁舎建設について

- (1) 新庁舎の建設場所は、一団地の官公庁施設の都市計画決定などを踏まえれば、隣接する旧NHK秋田放送会館用地を含めた現在地以外は考えられないと思うがどうか

4 中心市街地活性化基本計画と中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 本基本計画の中に再開発事業がどのように位置づけられているのか、また、このことによって、再開発事業に対し国からどのような優遇措置が受けられるのか
- (2) 再開発事業において、再開発事業推進協議会の最終整備方針に基づいた計画を将来的にも確実に実行するため、何らかの担保を設定すべきと考えるがどうか

5 教育問題について

- (1) 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について
 - ア 公立大学法人化への道筋に関する検討状況について
 - イ 4年制大学への移行の必要性及び可能性はどうか、また、コンソーシアム方式についての考えはどうか
- (2) 小中一貫校の開設について
- (3) 教育委員の役割について
 - ア 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員がどのような役割を担い、どのように取り組んでいくことが必要と考えているのか

6 就学前児童施策の充実について

- (1) 就学前教育の充実を図る「幼保小の連携」を推進するため、私立幼稚園に併設している認可外保育施設を、市の認定保育施設とし、積極的に助成する考えはないか
- (2) 就学前児童に対して縦割り行政で別々に対応するのではなく、窓口を統合し、一体的で効率的な行政を行う考えはないか

7 安全安心なまちづくりについて

- (1) 全市一斉通学路パトロールの成果と課題を検証し、今後の子供の安全対策に生かすべきと考えるがどうか
- (2) 安全安心対策推進本部が中心となり、子供の安全対策事業として、どのような事業を計画しているのか
- (3) 子供の安全対策以外に、安全安心対策推進本部が、今年度、特に重点的に取り組む事項は何か